

海外クルーズ客船おもてなし事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課		課長名	高野 政志
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H28 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	委託											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[3 楽しみを広げる]			関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 海外クルーズ客船を受け入れる地区が保安区域となるため、港湾管理者として必要な警備等を行う必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 国際埠頭施設を一般開放する場合、管理者は当該施設の保安水準を低下させないための措置を講ずる必要がある。 (国際港湾施設の保安対策に関するガイドライン(改定)12章3)						
[事業目的] 海外クルーズ客船の受け入れ態勢を整える												
[事業内容] クルーズ船寄港時対応 ・観光客の安全確保のため岸壁に警備員を配置し、バリケードを設置する。 ・保安区域内においてバス、タクシーの誘導を行う。 ・一般観光客の受付業務を行う。												
[受益者] クルーズ船乗船客						[想定される受益者数] 2,500人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況						他県の状況	他県のクルーズ船対応 富山県 クルーズ船受け入れのための施設整備済 wifi設備整備済 警備員配置、バリケード設置 石川県 クルーズ船受け入れのための施設整備済 wifi設備整備済 警備員配置、バリケード設置					

海外クルーズ客船おもてなし事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	高野 政志	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H28 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	委託											
補助率	0											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	6,239				6,239							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		2,328	2,337	11,249	6,239	6,239						
2月現計予算額の推移		2,328	2,337	0	0							
決算額の推移		2,328	2,237	0								
前年度までの 主な増減理由	受入予定回数の減 (R2: 4回 → R3: 2回)											
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	海外クルーズ船寄港回数 (目標)	(1)	(1)	(4)	(2)	(2)						
	実績	1	1	0								
活動指標	警備員配置人数 (目標)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)						
	実績	20	20	0								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルスの影響により、寄港中止								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

敦賀港内航利用拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	高野 政志	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助金			経過年数					R3 年度			
補助率	1/2			2 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野 [3 楽しみを広げる] 政 策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 新規貨物を獲得していくためには、物流ルートの転換が必要であるが、運送業者等にとって手間やコストがかかるため現状では、物流ルートを転換するのは難しい。						[問題・課題を表す客観的データ] R2年度のトライアルを実施した企業5社の試験的な運航経費は、約40万円程度の経費がかかる						
[事業目的] 既に定着した貨物ルートをもつ荷主および物流事業者に対して、試験的に敦賀港の利用を検討してもらうため、経費の一部を支援することで敦賀港を実際に利用してもらい、継続的な利用転換につなげたい。												
[事業内容] ○補助対象者 荷主企業・物流事業者 ○補助条件 ・敦賀港を利用した新たな物流ルート ・敦賀港の内貿(コンテナ船/RORO線/フェリ一定期航路)の利用貨物 ・敦賀港の利用により物流面の改善効果・機能向上が見込まれること ・トライアルに関するデータ提供・効果検証や敦賀港PRへの協力 ・過去に本事業における補助実績がないこと ○補助対象経費 海上運賃、国内陸上輸送費、国内荷役料、梱包料、その他経費等 ○補助率 1/2 ○補助上限額 200千円												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 敦賀港コンテナ物流トライアル事業 (役割分担) 外貿コンテナ貨物を対象に実施(企業誘致課)				
市町との連携状況						他県の状況		伏木富山港(外貿) 博多港(内貿・外貿) 鹿児島港(外貿) 秋田港(外貿)				

敦賀港内航利用拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	高野 政志	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	R3 年度		事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	補助金					□ 法定受託事務			R3 年度 経過年数			
補助率	1/2					□ 実行予算			2 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,000				2,000							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				2,000	2,000							
2月現計予算額の推移				2,000								
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	トライアル実施件数 (目標) 実績			(20)	(20)			トライアル実施件数 4航路 (コンテナ、RORO (博多、苫小牧)、フェリー) × 5件				
活動指標	(目標) 実績											
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
令和2年度はトライアル予算を活用し、5社が事業を実施。5社のうち4社が次年度からの継続的に利用もしくは、利用を検討している。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

小型ジェット機による福井空港利活用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課		課長名	高野 政志	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度	
事業実施方法	補助金、直営									経過年数			2 年
補助率										R3 年度			2 年
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野	[3 楽しみを広げる]			関連する県の計画等		[]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍での人との接触機会が少ない移動手段の確保 ・ 福井空港の利活用の促進 						<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期便の減便や国際線の休止 							
<p>[事業目的]</p> <p>新型コロナウイルスの感染症対策として、人との接触機会の少ない移動手段が求められている。一方コロナ禍により、航空需要が落ち込み、多くの航路で定期便が運航休止となっている。このため、空港到着後、待ち時間なく搭乗でき、国内ほぼすべての空港に直接運航できる小型ジェット機を活用して産業活動や観光（インバウンド）などの活性化を図るとともに、福井空港の利活用をつなげる。</p>													
<p>[事業内容]</p> <p>○ビジネスでの活用 県内企業が福井空港で小型ジェット機を利用する場合の経費を支援（回送費用：10/10、運航費用1/2）（6回分）</p> <p>○観光での活用 外国人観光客が国内の移動手段として小型ジェット機を利用し、福井空港に着陸する場合の経費を支援※新型コロナの収束状況を見てトライアル予算での対応を検討</p> <p>○婚活での活用 県の結婚支援制度を利用して知り合ったペアを対象に遊覧飛行を実施し、思い出づくりにより仲を深め、結婚に結びつける（6回分）</p>													
[受益者]						[想定される受益者数]							
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況						他県の状況							

小型ジェット機による福井空港利活用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	高野 政志			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助金、直営					□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率	0					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	18,138			諸 120	18,018									
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					14,886	18,138	小型ジェット機回送費用、運航費用の精査による増							
2月現計予算額の推移					9,689									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	利用回数 (目標) 実績				(12)	(12)			ビジネス利用 6回 婚活利用 6回					
活動指標	(目標) 実績													
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
<small>○ビジネスでの活用</small> ・これまで、4件の問い合わせがあり、うち1件が利用 ・4月21～23日に福井市内の飲食店経営者が新規出店の視察等を行うため、札幌までの出張に利用 <small>○婚活での活用</small> ・6/12、7/10、8/22、9/25、10/23、11/27に遊覧飛行を実施(14組のカップルが搭乗) ・参加者からは、「一生一度の貴重な体験」、「コロナ禍で旅行に行けないなか、旅行気分を味わえた」など好評 いただいている。								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

敦賀港鞠山南地区 2 期工事

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課		課長名	高野 政志
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
敦賀港のふ頭用地不足の解消						<ul style="list-style-type: none"> ・ 内航フェリー、内航ROROの貨物量の拡大(147万tの増加→3.3ha必要) ・ 新規企業の利用(木質チップ)による貨物量の増加(25万 t →3.5ha必要) 						
[事業目的]												
敦賀港のふ頭用地不足を解消し、港湾機能の強化を図る												
[事業内容]												
<p>鞠山南地区多目的国際ターミナルにおいて、ふ頭用地を整備</p> <p style="margin-left: 40px;">(整備内容) ふ頭用地造成 10.2ha (県事業)</p> <p style="margin-left: 40px;">(参 考) - 14m岸壁 L=180m (直轄事業) - 9m岸壁 L=200m (直轄事業)</p>												
[受益者] 荷主企業、物流事業者、船社等						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	伏木富山港 21.6ha 11,600百万円 (H元~H18年) 金沢港 11.4ha 8,100百万円 (H5~H24年) 舞鶴港 20.0ha 10,000百万円 (R3~R12予 定)					

敦賀港鞠山南地区 2 期工事

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	高野 政志			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	0					□ その他			□ その他					
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,333,480			1,333,000			480							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		863,900	1,007,000	848,000	1,151,160	1,333,480	工事工程計画に併せて増減							
2月現計予算額の推移		820,000	955,000	805,000	1,091,000									
決算額の推移		809,630	784,643	634,421										
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績								令和9年度完成を目標に計画的に整備					
活動指標	(目標) 実績								令和9年度完成を目標に計画的に整備					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

敦賀港新多目的クレーン整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	高野 政志				
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
平成3年の供用開始から30年が経過し、クレーン全体の腐食や老朽化が進んでおり、今後多額の修繕費が必要となってくる						老朽化しており、修繕費が増加 H29 : 15,000千円、H30 : 104,600千円、R元 : 123,400千円、R2 : 40,000千円									
[事業目的]															
多額の修繕費が必要となる前に更新を行う															
[事業内容]															
新多目的クレーンの整備 ・基本設計 ・詳細設計・受電設備等設計 ・製作・据付 ・現クレーンの撤去															
[受益者] 荷主企業、物流事業者、船社等						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況	金沢港 ガントリークレーン (平成17年、30年) 新潟港 ガントリークレーン (平成20年)								

敦賀港新多目的クレーン整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	高野 政志			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営													
補助率	0													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	13,780		13,000		780									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					10,600	13,780	受電設備等の設計を追加							
2月現計予算額の推移					10,600									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績								令和7年度供用開始を目標に整備					
活動指標	(目標) 実績													
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
利用者等と打合せを実施し、必要なスペック等を検討								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				